

株式の状況

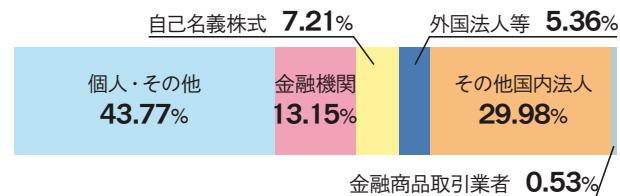
発行可能株式総数	54,767,100 株
発行済株式の総数	19,058,587 株
	(自己株式 1,374,431 株を含む)
株主数	4,396 名

大株主(上位10位)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
有限会社ビー・エッチ	1,841	9.66
財団法人佐々木環境技術振興財団	1,440	7.56
株式会社ダイニチビル	1,361	7.14
ダイニチ工業従業員持株会	1,080	5.67
株式会社第四銀行	850	4.46
吉井久夫	570	2.99
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	563	2.96
佐々木文雄	560	2.94
吉井久美子	556	2.92
渥美るみ子	391	2.06

(注)上記のほか、自己株式が 1,374 千株あります。

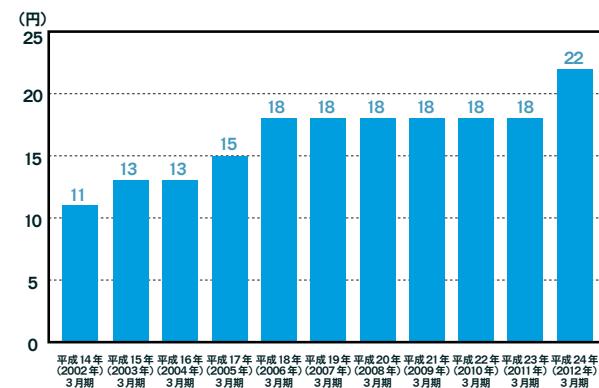
所得者別株式比率



株式メモ

社名	ダイニチ工業株式会社
証券コード	5951
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
公告方法	当社のホームページ (http://www.dainichi-net.co.jp/)に 掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由に よって電子公告をすることができない 場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
上場取引所	東京証券取引所市場第一部
株主名簿管理人 及び特別口座 の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
【郵便物送付先】	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
【電話照会先】	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)

1株あたりの配当金の推移



Top Message トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第50期第2四半期累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）を終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

昨シーズンは東日本大震災とそれに伴う原発事故、さらには夏から秋にかけてつづいたタイ洪水が国内経済全体にさまざまな影響を与えましたが、節電マインドの高まりによる石油暖房機器への注目や各方面にわたる部品・製品供給動向を注意深く監視しながらフレキシブルな生産体制を駆使したこと、さらにはJX日鉱日石エネルギー株式会社より生産受託し、平成23年10月より出荷を開始した家庭用燃料電池システムが売上拡大に寄与し、業績は前期を上回る結果となりました。



代表取締役会長

佐々木文雄



代表取締役社長

吉井久夫

今期におきましても、お客様のニーズに沿った商品開発、販売チャネルに適した商品ラインナップ展開を行なうとともに、全社的なコスト低減、経費削減活動を推進し、経営体質の改善に努めてまいりました。

当第2四半期会計期間は、石油暖房機器及び加湿器の販売店への商品導入期にあたるため売上は大きくありませんが、導入は順調に進みました。また家庭用燃料電池システムにおいても生産体制の増強に努め、順調に生産を行っておりますことを、ご報告させていただきます。

平成24年11月

当第2四半期の概況

売上高は前期比51.9%増で順調に推移しております

当社の主力分野であります石油暖房機器業界におきましては節電意識も継続し、取引先様との商談も順調に行なわれたことから、出荷はほぼ計画通りに推移いたしました。

また加湿器におきましては、省電力に優れた気化式加湿器などのラインナップの充実や積極的な販売活動を展開いたしました。家庭用燃料電池システムにおきましても前年を上回るペースで生産が行なわれました。

この結果、当第2四半期累計期間における売上高は56億66百万円（前年同期比51.9%増）、営業損失は1億72百万円（前年同期比31百万円減）、経常損失は82百万円（前年同期比5百万円減）、四半期純損失は56百万円（前年同期比30百万円減）となりました。

なお、当社は石油暖房機器が主力であるため、売上は第3四半期会計期間に集中する傾向があり、当第2四半期累計期間は売上に連動しない定常的経費である販売費及び一般管理費の計上により損失が発生いたします。

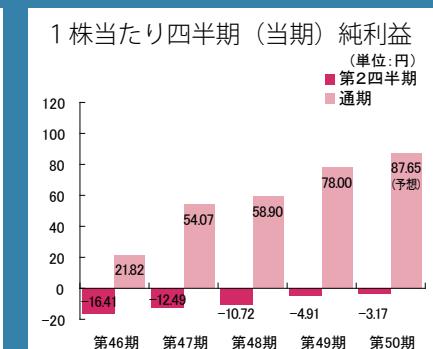
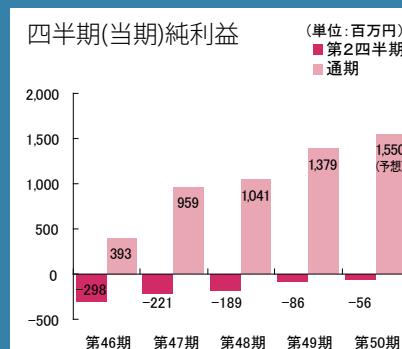
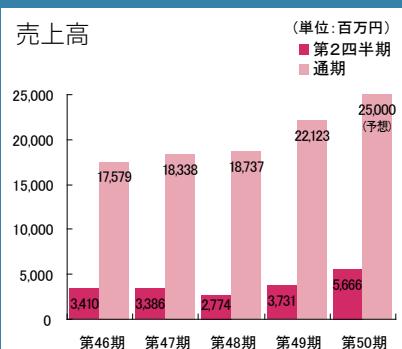
業績の推移	当第2四半期 累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	前第2四半期 累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)
売上高(千円)	5,666,613	3,731,552
営業損失(△)(千円)	△172,530	△203,689
経常損失(△)(千円)	△82,581	△88,060
四半期純損失(△)(千円)	△56,012	△86,760
資産合計(千円)	26,627,421	25,515,454
純資産合計(千円)	22,988,876	21,969,255
1株当たり当期純利益(円)	△3.17	△4.91

通期の見通し

第50期におきましては、売上高250億円、営業利益25億50百万円、経常利益25億円、当期純利益15億50百万円を見込んでおります。業績は原油価格の動向や冬期の気候条件などに影響されますが、当社製品への

期待は根強いものがあると実感しております。通期目標の達成に向けて全力で取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト



特集 お客様の生活を支えるダイニチのものづくり

石油暖房機器 石油ファンヒーター

パワフルな暖かさが頼もしい石油ファンヒーター、ダイニチでは今年の冬の販売をさらに拡大すべく、積極的にラインナップを充実させています。

最上位モデルのDXタイプに追加された2機種は、リビングなどが集まる場所にふさわしいデザインと機能を備えて店頭でもひととき目立つ存在。また既存の機種

もその多くでデザインや機能の見直しを行ないました。

過去3期連続で市場を拡大させている石油ファンヒーター市場、お客様からの期待に
●新たに追加したFW-3TDX
応えるべく、工場では生産・出荷をつづけています。



環境機器 加湿器

成長をつづける加湿器事業、昨年度は省電力性に優れた気化式パーソナルタイプ2機種をラインナップに加え、シェアを大幅に伸張させましたが、今期はその気化式にリビングタイプ2機種を追加するとともに、フィルター交換式の新型ハイブリッドタイプも開発。お客様の幅広いニーズに応えることでさらなる売上拡大をめざします。



●リビングタイプ気化式加湿器HD-EN500

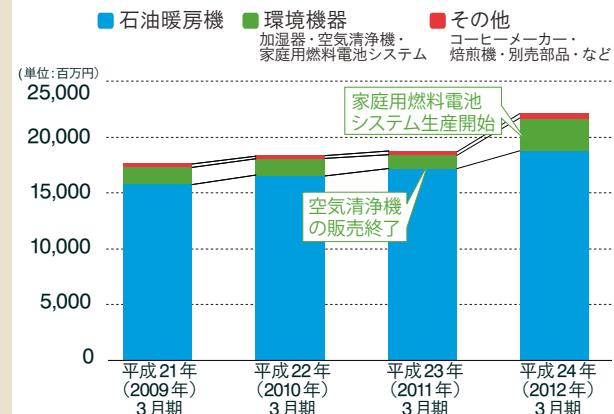


●フィルター交換式ハイブリッド式加湿器HD-FC500

家庭用燃料電池システム

J×日鉱日石エネルギー株式会社より生産受託した家庭用燃料電池システムは、平成23年10月より出荷を開始し、今期の受注も大幅拡大、売上にも大きく貢献する見通しです。

主要品目別売上高



※平成23年(2011年)3月期まで、環境機器に含めていた空気清浄機は平成24年(2012年)3月期から販売実績がなくなり、新たに販売を開始した家庭用燃料電池システムを含めております。

ものづくりの現場に聞く!

石油ファンヒーターDXタイプの開発背景

デザイン性と使いやすさの極みをめざし、「ダイニチ」をギュッと詰め込んだ最上位モデル

必要機能・性能を確保して安さを求める多数派と付加価値として機能・性能などを求める少数派という市場の二極化は石油ファンヒーターにおいても例外ではありません。

多数派の対応も重要ですが、少数派のニーズの掘り起こしは、世帯普及が飽和しつつある石油ファンヒーターの『てこ入れ』には必要であると考えています。

そのような背景から昨年度FW-72DXが誕生、今年度新たに2機種を追加しました。

落ち着いた中にも新しさと品位を感じさせる外観、

明るく視認性を向上させた大型液晶パネル、当社だけの8段階油量モニターなど、デザインと機能の極みをめざしました。安全性・信頼性はもちろん、「ダイニチ」をギュッと詰め込んだ最上位モデルに相応しい商品です。

石油ファンヒーターは即暖性・ランニングコスト、安全性などで優れた暖房機であり、今日の地位を確立しています。これに満足する事なく、新機能の開発やお客様の声を具現化することを貪欲に取り組んで参ります。



暖房機開発部 部長 野水 幸一

ものづくりの現場に聞く!

加湿器FCシリーズの開発背景

加湿器の課題だった「面倒なお手入れ」に注目し、交換式フィルターを採用。

まず、加湿器を使用してみてください。体調や空気質が良くなったことが実感でき、手放せない製品になります。加湿器は日々のお手入れが必要な製品ですが、その中でも心臓部の加湿フィルターは、長期間お手入れに耐えられるように強化しました。しかし、このお手入れが、家中の加湿器となると面倒です。

このHD-FC500は、お手入れの面倒さと清潔さを簡単にキープできるよう、加湿フィルターを交換式にしました。例えるなら紙パック式掃除機のイメージです。必

要条件として、安く加湿フィルターを提供できなければなりません。もちろん、設定湿度に達すれば、気化式に切り換わり、静音コンセプトも継承しています。デザインテイストは、他のシリーズとあえて変えています。

市場でのブランド認知度や買い増し、リピーターが毎年増えていることが実感できます。これは真面目なモノづくりが、評価されているのだと思います。

今後はさらに「驚きや喜び」を感じてもらえるようなコンセプトを展開したいです。



応用製品開発課 課長 内海 茂雄

貸借対照表

(単位：千円/千円未満切捨)

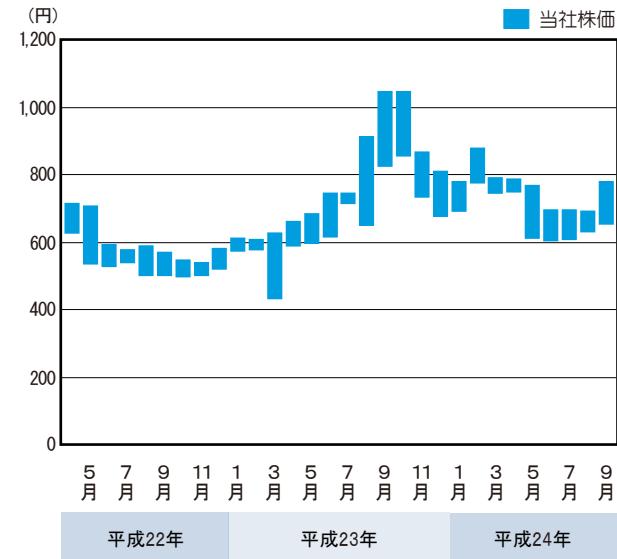
	当第2四半期 会計期間	前事業年度
	平成24年 9月30日現在	平成24年 3月31日現在
【流動資産】	19,723,902	21,154,314
現金及び預金	3,581,630	9,866,779
受取手形及び売掛金	5,308,399	4,659,592
有価証券	200,719	995,766
製品	8,529,382	4,082,461
仕掛品	333,758	159,356
原材料及び貯蔵品	1,126,294	992,141
繰延税金資産	336,196	281,873
その他	318,321	125,744
貸倒引当金	△10,800	△9,400
(有形固定資産)	4,880,317	4,668,043
(無形固定資産)	86,709	42,950
(投資その他の資産)	1,936,492	2,465,945
【資産合計】	26,627,421	28,331,254
【流動負債】	2,523,679	3,735,164
買掛金	1,389,034	1,018,927
未払法人税等	20,502	977,915
賞与引当金	290,333	234,014
製品保証引当金	233,900	242,800
その他	589,909	1,261,507
【固定負債】	1,114,866	1,089,028
再評価に係る繰延税金負債	118,748	118,748
退職給付引当金	242,418	227,280
役員退職慰労引当金	753,699	743,000
【負債合計】	3,638,545	4,824,193
【株主資本】	23,043,534	23,488,645
資本金	4,058,813	4,058,813
資本剰余金	4,526,572	4,526,572
利益剰余金	15,447,508	15,892,573
自己株式	△989,359	△989,313
【評価・換算差額等】	△54,657	18,415
【純資産合計】	22,988,876	23,507,061
【負債・純資産合計】	26,627,421	28,331,254

損益計算書

(単位：千円/千円未満切捨)

	当第2四半期 累計期間	前第2四半期 累計期間
	(平成24年4月1日 平成24年9月30日)	(平成23年4月1日 平成23年9月30日)
売上高	5,666,613	3,731,552
売上原価	4,274,022	2,453,049
売上総利益	1,392,590	1,278,502
販売費及び一般管理費	1,565,121	1,482,192
営業損失(△)	△172,530	△203,689
営業外収益	90,019	117,671
営業外費用	70	2,042
経常損失(△)	△82,581	△88,060
特別利益	—	628
特別損失	24,566	22,441
税引前四半期純損失(△)	△107,147	△109,873
法人税、住民税及び事業税	8,000	7,500
法人税等還付税額	△19,040	—
法人税等調整額	△40,095	△30,613
四半期純損失(△)	△56,012	△86,760

株価の推移



Corporate Data 会社概要

平成24年9月30日現在

社名：ダイニチ工業株式会社
英文社名：Dainichi Co.,Ltd.
本社：〒950-1295 新潟県新潟市南区北田中780番地6
創立年月日：昭和39年4月1日
資本金：40億5,881万円
従業員数：453名

株式についてのご案内

お取扱窓口 お取引の証券会社等。特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店。

特別口座管理機関お取扱店 みずほインバスターズ証券、及びみずほ信託銀行
 フリーダイヤル0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)

未払配当金のお支払 みずほ信託銀行 本店及び全国各支店
 みずほ銀行 本店及び全国各支店
 (みずほインバスターズ証券では取次のみとなります。)

ホームページのご案内

当社ホームページでは、「製品情報」や「お客様サポート・お問い合わせ」から「会社情報」までわかりやすくご案内しております。

また、株主・投資家の皆様には、当社をよりご理解いただくために、「会社情報」内の「株主・投資家情報」で決算短信や財務諸表など各種資料を掲載しております。

<http://www.dainichi-net.co.jp/>

ダイニチ工業

検索

